



違法「民泊」の取り締まり 体制強化へ

9月市会の代表質問では、みなさんから寄せられている違法「民泊」により住環境が壊されている例を示した上で、医療衛生センターの体制強化は不可欠と市長に迫りました。「調査結果も踏まえ、10月1日から2名を増員し、体制強化を図っていく」と答弁。しかし、住民から寄せられている不安の声に応えるには、さらなる体制の強化が必要です。引き続きがんばります。

府の中小企業への奨学金返済支援事業へ 上乗せを検討 市独自の 給付型奨学金制度 には後ろ向き

決算委員会では京都府で今年度から実施されている「中小企業奨学金返済一体型支援事業」へ京都市としての上乗せを検討すべきと質問。「府の推移を見て検討する」との答弁でした。一方、市独自の給付型奨学金の創設には後ろ向きの態度に終始しました。奨学金制度の充実に力を尽くします。

寄せられている要望が前進

京都の街並みを守る

市会議員

ひらいよしひと
平井良人



市会で求めてきた点字ブロック、 地下鉄東西線でも改善



議員になって初めての質問で交通局に対して求めてきた地下鉄の点字ブロックの改善がされました。地下鉄東西線は6両編成と4両編成の車両があります。改善する以前は、点字ブロックが6両編成に合わされているため、4両編成の車両が来る時は、視覚障害のある方は乗れない状況でした。今回の改善で4両編成でも乗れるようになりました。

商店街を守る京都市へ

代表質問では、商店街について質問を行いました。京都府が行った「商店街カルテ」という調査では、3分の2の商店街でお客さんか店が減っている状況です。京都市として商店街復活の計画をつくり、具体的に商店を応援すべきとがんばりました。しかし、京都市は市自身が調査をする気がなく、長期計画の案もなく部分的な政策にとどまっています。根本的に商店街を応援する転換が必要です。